

課名	疾病感染症対策課
担当	山本、松岡
内線	3365、3369
直通	226-7331

## お知らせ

### 手足口病患者が増えています（注意喚起）

県内における第27週（6月29日から7月5日）の手足口病の定点当たり患者報告数が6.89人となり、国が示している警報基準値「5.0人」を上回りました。大きな流行となった2年前にも7月に流行のピークを迎えており、今後も患者が増加することが懸念されるため、次のとおり県民への注意喚起を図ります。

#### 1 手足口病とは

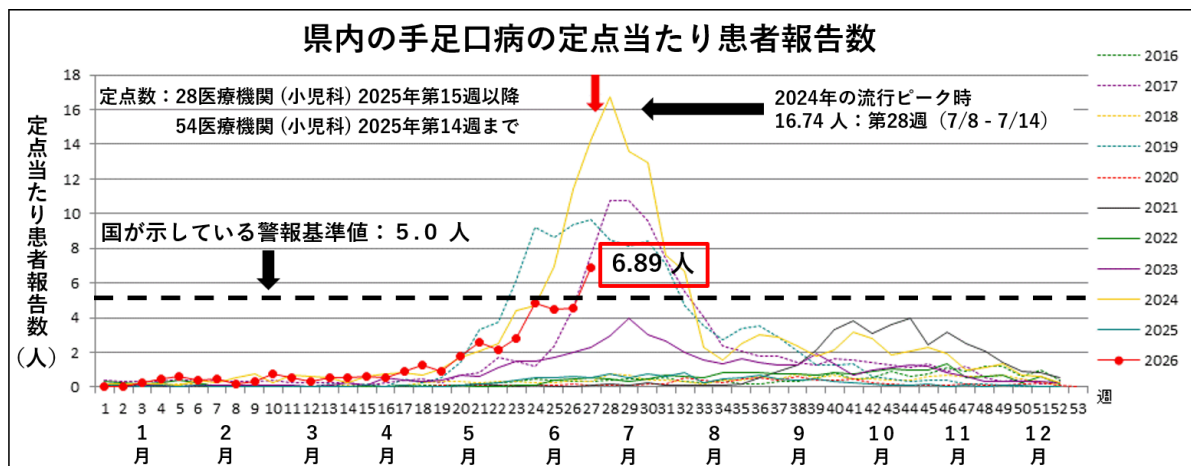
- 【原因】 エンテロウイルス属のウイルス
- 【流行期】 夏季（乳幼児の夏かぜの代表疾患）
- 【主な症状】 口の中・手のひら・足底の水疱性発疹、発熱を伴う場合もあり
- 【感染経路】 飛沫・接触感染、糞口感染（便にウイルスが排出されるため）

#### 2 感染を拡げないために

- ・手に付着したウイルスによる感染予防のために、石けんと流水による手洗いで、ウイルスをしっかりと除きましょう。
- ・患者との密接な接触を避け、タオル等の共用をやめましょう。
- ・皆がよく触れる場所や器具（おもちゃ）等の洗浄・消毒を行いましょう。
- ・患者の便の中にもウイルスが排出されることがあるので、手足口病にかかりやすい乳幼児の集団生活の場である保育園や幼稚園などでは、トイレ、おむつ交換の際も注意しましょう。

#### 3 かかったときは

- ・特別な治療法はありませんが、ほとんどの場合は数日間のうちに治ります。
- ・まれに脳炎などの合併症が起こる場合があるため、不安な症状が見られる場合は早めに医療機関にご相談ください。



## 手や足、口の中などに 発しんはありますか？



# てあしくちびょう 手足口病

手足や口の中などに水疱を伴う複数の発しんが出る感染症です。発熱は発症した人の約3分の1で起こり、38度以下のことがほとんどです。多くの場合、数日間で自然に治りますが、まれに合併症を起こし、重症化することがあります。



感染してから数日後に2~3mmの水疱(発しん)がみられます。

流行時期

## 夏

を中心に毎年発生します。2歳以下が半数を占めますが、小学生でも流行的発生がみられることがあります。

飛沫感染、接触感染、糞口感染(便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って

## 感

知られており、特に乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などで注意が必要です。

感染経路



- ✓流水や石けんによる手洗いをしましょう。
- ✓タオルの共用を避けましょう。
- ✓排泄物の適切な処理を行いましょう。

手足口病は治った後も比較的長い期間、便と一緒にウイルスが排泄されます。た、感染しても発病しないままウイルスを排泄する場合もあると考えられます。

## 手

手足口病に特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法を行います。まれに重症化することがあるため、以下の症状がある場合は、医療機関への受診をご検討ください。

- 高熱が2日以上続く
- 嘔吐する
- 頭を痛がる
- 視線が合わない
- 呼びかけに答えない
- 呼吸が速くて息苦しそう
- 水分が取れずにおしっこがでない
- ぐったりとしている

治療方法

受診を迷った場合や夜間・休日の場合は、「こどもの救急 (<http://kodomo-qq.jp/>)」などのWebサイトを参照したり、「#8000 (こども医療電話相談)」にご相談ください。

手足口病について ▶

厚生労働省

